

作成日：平成 10 年 1 月 14 日

改訂日：平成 26 年 4 月 21 日

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名：キンチョール（販売名：キンチョール）

用途：（効能） ハエ成虫、蚊成虫、ゴキブリ、ノミ、トコジラミ（ナンキンムシ）、イエダニ、マダニの駆除

（使用法） 噴射バルブのボタンを押すと殺虫液が噴射される。室内のハエ成虫、蚊成虫には閉切って 6 畳あたり約 5 秒間、ゴキブリ、ノミ、トコジラミ（ナンキンムシ）、イエダニ、マダニには直接噴射する。

会社名：大日本除虫菊株式会社

住所：大阪市西区土佐堀 1 丁目 4 番 1 1 号

担当部門：お客様相談室

電話番号：06-6441-1105

整理番号：

2. 危険有害性の要約

物理化学的危険性：通常の使用において危険はない。高圧ガスを使用した可燃性の製品であり、火気の付近及び高温になる場所に置くと破裂・爆発する可能性がある。水回りや湿気の多い場所に置くと容器が錆び、内容液が漏出することがある。（高圧ガス保安法において高圧ガス適用除外）

エアゾール原液：危険物第 4 類第 3 石油類（非水溶性）、危険等級 III、（GHS 分類は区分外）

健康有害性：飲み込むと有害のおそれ（GHS 分類では分類できない）

環境影響：水生生物に対して強い毒性を示す成分を含む。（d-T80-フタルスリン、d-T80-レスメトリンの GHS 分類は水生環境有害性（急性）区分 1）

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物

成分：

有効成分：ピレスロイド（d-T80-フタルスリン 0.375w/v%、d-T80-レスメトリン 0.050 w/v% < 原液 100mL あたり >）

その他の成分：香料、ケロシン（灯油）、LPG、DME

4. 応急措置

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し安静保温につとめる。酸素吸入を行う。医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合：水でよく洗い、石鹸を使ってよく落とす。

目に入った場合：流水で十分に洗い流し、医師の手当てを受ける。

飲み込んだ場合：水でよく口の中を洗浄したあと、コップ数杯の水を飲ませ希釈し、可能であれば指を喉に差し込んで吐き出させ、直ちに医師の診断を受ける。

患者に意識がない場合には、口から何も与えてはならないし、吐かせようとしてもいけない。

5. 火災時の措置

消火剤：水、粉末、炭酸ガス、砂

消火方法：エアゾール周辺で火災が起きた場合、エアゾールを安全な場所に移動させる。それが不可能な場合は注水して冷却する。

6. 漏出時の措置

水回りや湿気の多い場所に置くと容器が錆び、内容液が漏出することがある。

風下の人を退避させ、付近の火気に充分注意すると共に、通風等により換気を良く行う。漏出液を乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させる。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い：

(注意事項)

注意－人体に使用しないこと。

使用上の注意

<してはいけないこと>

- (1) 人体に向かって噴射しないこと。また、噴射気体を直接吸入しない。
- (2) 投げたり、落としたりしない。

<相談すること>

- (1) 万一身体に異常を来たした場合や誤って薬剤を飲み込んだ場合は、直ちに使用を中止し、出来るだけ本品を持って本剤がピレスロイド系の殺虫剤である事を医師に告げて、診療を受ける。
- (2) 万一、誤って薬剤が眼に入った場合は、直ちに水でよく洗い、異常があれば眼科医の手当てを受ける。

<その他の注意>

- (1) 定められた用法及び用量を厳守する。
- (2) 皮膚、飲食物、食器、おもちゃ、ペット類(観賞魚、小鳥など)、植物、飼料にはかからないようにする。又、家具、建具などに直接噴射しない。
- (3) 噴射中、噴射する人以外の入室を避け、噴射後室内の空気を外気と交換した後入室すること。
- (4) 皮膚についたときは、石けん水でよく洗う。
- (5) 本剤の使用に際しては、室内に湯沸器やタバコ等の火気のないことを確認する。
- (6) 規定時間(秒)以上噴射しない。

<保管上の注意>

- (1) 小児の手の届かない場所に保管すること。
- (2) 火気を避け、なるべく冷暗所で保管する。
- (3) 水周りや湿気の多いところに置くと、缶が錆びて破裂する危険があるので置かない。
- (4) 直射日光の当たる所、夏場の車内、ファンヒーターなどの暖房器具や加熱源の周囲は温度が上がり破裂する危険があるので置かない。

<廃棄上の注意>

捨てる際には、火気のない屋外で噴射音が消えるまでボタンを押し中身を抜いて捨てる。

8. 暴露防止及び保護措置

定められた用法・用量及び使用上の注意事項に従って使用する。

噴射気体を、吸入しない。

9. 物理的及び化学的性質

(エアゾール原液)

物理的状态

形状：液体 色：淡黄色澄明 臭い：芳香

密度：0.759

引火点：107℃

10. 安定性及び反応性

安定性：室温において安定。

反応性：なし。

11. 有害性情報

(エアゾール原液)

急性毒性	経口 LD50	:	> 30.0mL/Kg (ラット)
	経皮 LD50	:	> 5.0mL/Kg (ラット)
局所効果	眼刺激性	:	刺激性なし (ウサギ)
	感作性	:	皮膚感作性なし (モルモット)

12. 環境影響情報

(d-T80-フタルスリン)

LC50 (96Hr) : 0.069mg /L (ブルーギル)

(d-T80-レスメトリン)

LC50 (48Hr) : 0.003mg/L (ヒメダカ)

魚介類に対し毒性が強い為、金魚鉢、水槽、池などに噴霧が入らないように注意すること。

13. 廃棄上の注意

- ・捨てる時は、火気のない屋外で噴射音が消えるまでガスを抜く。
- ・火の中に入れてない。
- ・使い切って捨てる。

14. 輸送上の注意

国連分類：クラス 2. 1 (引火性ガス) : 国連番号 1950 (エアロゾール類)

輸送の特定の安全対策及び条件：輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等のないことを確かめる。転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行う。温度の上昇を防止する。また、火気の付近に置かない。

15. 適用法令

薬事法：医薬部外品

消防法：危険物第 4 類第 3 石油類、危険等級 III (内容液)

危険物船舶運送及び貯蔵規則：クラス 2. 1 (引火性ガス)

高圧ガス保安法：(高圧ガス適用除外)

16. その他の情報

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、危険・有害性等に関してはいかなる保証をなすものではありません。定められた用法・用量及び使用上の注意事項に従ってご使用下さい。

作成日：平成 10 年 1 月 14 日

改訂日：平成 13 年 9 月 20 日

改訂日：平成 18 年 2 月 13 日

改訂日：平成 20 年 11 月 7 日

作成日：平成 21 年 5 月 11 日

作成日：平成 26 年 4 月 21 日